

連綿と受け継がれ、今なお息づく 日本が誇る江戸木版画摺の技



張りつめた静寂のなかにも熱気漂う作業場

■プロフィール
昭和12年千葉県勝浦市生まれ。77歳。昭和27年から台東区元浅草で高木蟹泡堂を営む高木省治氏に師事し、4年間の修行を経て町屋で独立。摺師の系譜では村松三井系の流れを汲む。昭和63年に荒川区登録無形文化財保持者、平成23年に荒川区指定無形文化財保持者として認定される。現在、荒川区伝統工芸技術保存会副会長、東京伝統木版画工芸協同組合理事、浮世絵木版画摺技術保存協会理事を務める。平成26年春の叙勲で受章。



江戸木版画摺師
松崎 啓三郎さん

第232回 荒川の人

荒川区には江戸の伝統文化や工芸技術を今に伝える職人さんが多く住んでいます。昭和31年から町屋で木版画摺師として仕事を続けてきた松崎さんもその一人。歌川(安藤)広重の晩年の大作「名所江戸百景」のシリーズをはじめ、美人画や街道ものの複製版、名刺代わりに使われた交換札など、さまざまな江戸木版画を手掛けています。今年の春の叙勲で瑞宝単光章を受章され、77歳の今も現役の松崎さんの仕事場にて、お話を伺いました。

16歳で弟子入り、4年の修行後、20歳で現在の町屋で独立を果たす

木版画は絵師が描いた絵を彫師が版木に彫り、摺師が版木に色を乗せて和紙に摺るといって工程を経て一つの作品が仕上がります。多色摺りの木版画には、絵の土台となる輪郭が彫られた墨版と色を重ねるための複数枚の色版があり、摺師は自ら色を作り、一色ずつ、一分の狂いなく重ねていきます。

松崎さんが摺師の仕事に就いたのは昭和27年。まだ機械刷りが少ない時代でした。

「16歳のときに千葉県の勝浦から上京して、台東区元浅草の高木省治に弟子入りしました。当時は掛け紙や祝儀・不祝儀の袋といった日用品を摺っては卸すという毎日。忙しくて夜遅くまで仕事をしても追いつかないくらい。親方のごとくに4年いたけれど、町屋に来たころは、仕事もまだまだ中途半端で、色づくりは大変だったね」

木版画に使う顔料は、墨、藍、黄、紅の4色ですべての色を表現します。混ぜる色の割合、濃さ、粘り、版木に乗せる量、すべてを経験と感性で見極めなければならぬため、独立直後はかなり苦労されたようです。「難しいのは『ぼかし』。例えば、『名

所江戸百景 鉄砲洲稻荷橋湊神社』の空や川の濃淡は、色の刷毛と水の刷毛を使ってぼかします。ぼかしの深さを揃えるのが特に難しいんですよ」

熟練摺師の経験に裏付けられた
美しく、味わい深い摺り上がり

松崎さん曰く、趣味でやっているわけじゃないから、スピードが命。手摺りで量産するためには、摺り上がりの質はもろいんですが、速さが求められると言います。そこで重要な役割を果たすのが、版木にある「見当」という目印。各版木に付けられた「見当」を頼りに紙を合わせていきます。

「見当を合わせるのが一番大事。特に美人画は、唇や瞳が入ったりするから、見当が違っちゃ見苦しいですよ」

とはいえ、一枚の木版画を仕上げるには、多いものでは40回も色版を重ねます。狂いやび割れが少ないとされる山桜の木で作られた版木でさえも、温度や湿度で伸縮するため、濡らしたり、乾かしたり、毎回微調整が必要になります。越前産の「奉書紙」という専用の和紙も「床」で寝かして、湿り加減を調整します。そのすべてが長年の経験に裏付けられているのです。



お話中の柔和な笑顔から、真剣な眼差しに

摺るのに使って、編んだ竹皮の角がとれてきたら絵の輪郭となる地墨や細かい部分に使います。刷毛も新しいものは絞の皮で太い毛を割っておろすんです。おろしすぎると柔らかくなり過ぎるから、その見極めも難しいですよ。道具も技術のひとつ。道具がなくちゃ仕事にならないものね」

7年かけて仕上げた広重の「名所江戸百景」118図や伊東深水、上村松篁といった著名な浮世絵師の作品のほか、菓子箱の掛紙や郵便記念切手の包装など松崎さんの仕事は多岐に亘ります。現在は後世への継承にも注力されています。荒川区では、伝統技術を持つ職人に弟子入りできる「匠育成支援事業」があり、松崎さんも若者を受け入れ、職人として育成中。

「何百年も受け継がれてきた、世界に誇れるこの技術を後世に伝えていかないと。我々の時代で絶やしてしまうわけにはいきません」

機械刷りとは全く異なり、松崎さんの手で摺られたものは色合いの美しさはさることながら、紙に凹凸をつける技法により絵に奥行きがあり、表情豊か。7月4日(金)からは、荒川区内で受け継がれてきた伝統工芸技術を集めた「第35回あらかわの伝統技術展」があります。多くの方に来場いただき魅力に触れていただきたいと思えます。

「第35回あらかわの伝統技術展」

7月4日(金)～6日(日)

荒川総合スポーツセンター

※詳細は、6ページをご覧ください。

ふくらむ収納から、ゆとりの収納へ!
トランクルーム 貸し納戸

安心な管理人常駐!!管理費・共益金ナシ!!天井高3mで収納抜群!!
2階 割安ブース完成!!
3階 若干空きあり!!

月額 8,085円〜
毎月利用料のみ!

全130室
1.32㎡~3.89㎡

NEW

詳しくはホームページをご覧ください
※空室はお電話にてご確認ください。

引越しの合間に家具の収納として。
シーズンオフの生活用品やスポーツ用品の収納に。

泰山堂 トランクルーム
宮地橋 明治通り 荒川署

ACCESS 地下鉄野田駅から徒歩5分/明治通りから尾竹橋通りに入り、最初の信号を右折。

お申し込み
お問合わせ

泰山堂トランクルーム 東京都荒川区荒川4-48-3
TEL03-3802-8888 (8:00~19:30) FAX03-3805-2690

<http://www.okubopp.co.jp/>

ご宴会ご予約承り中
【最大宴会人数60名様までご利用いただけます】

7月1日(火)~8月10日(日) **北海フェア**
7月19日(土)~8月10日(日) **すきやきフェア**

フェア特別価格
国産牛ロース肉 3,132円 税込
和牛霜降肉 3,996円 税込

無料送迎バスをご用意いたします。
※10名様以上のご利用で承ります。

木曽路南千住店 荒川区南千住5-6-15
TEL: 03-5850-5567

グラスドリンク人数分プレゼント
●2,100円以上の料理をご注文に限りです。
●グラスドリンクを人数分プレゼントいたします。
●他券との併用はできません。
●ご飲食前に係員にお渡しください。
●平成26年8月31日まで有効
●木曽路南千住店のみ有効